

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	膠芽腫の遠隔再発に關与する危険因子の解析 (C21-177)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経外科・主任教授 隈部俊宏
他の研究機関および 各施設の研究責任者	山形大学医学部脳神経外科・教授 園田順彦 東北大学医学部脳神経外科・准教授 金森政之
本研究の概要・背景・ 目的	<p>膠芽腫は中枢神経系悪性腫瘍で最も頻度が高く、手術・放射線化学療法等の集学的治療を行っても全生存期間は約1年半と著しく不良です。膠芽腫は脳実質内に浸潤性に発育するために、腫瘍を全摘出しようとするのであれば、画像上の造影部分を越えた浸潤部分までも摘出することが望ましいのですが、脳という臓器特異性ゆえに浸潤部分を含んだ摘出は、半身麻痺といった重篤な合併症をきたすことが危惧されることため通常は行われず、造影部分を含んだ摘出のみが施行されることが多いです。したがって浸潤部分にたいしては手術後、放射線化学療法が施行されますが、その効果は限定的であり約80%は1年以内に腫瘍摘出腔の周囲から再発を来たすことが知られています。しかしながら近年は手術治療機器や補助療法の進歩によりある程度局所再発が制御できるようになってきたことから遠隔再発が問題となってきています。</p> <p>本研究では、初発膠芽腫を多数症例集積し、詳細な検討を加えることにより、遠隔再発に關与する因子を明らかにします。危険因子を明らかにすることにより、ハイリスク症例には予防的髄腔内抗がん剤投与、あるいは拡大照射等をおこなうことにより遠隔再発までの期間を延長される可能性があります。なお上記にあげた治療法は侵襲性が高く低リスク症例に行うことは推奨されません。</p>
調査データ 該当期間	2013年1月1日から2021年10月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に初発膠芽腫で当院で加療された方
研究の方法 (使用する試料等)	2013年1月1日から2021年10月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ電子的配信で提供
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に關連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さ
い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さん
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の
連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありま
せん。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供してい
ただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります
が、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:脳神経外科・講師

担 当 者:柴原一陽(シバハライチヨウ)

電 話:042-778-9334

備 考